

## 平成31年度 第2回 学校運営協議会

日 時 令和元年10月24日(木) 15:00-17:00

場 所 大阪府立中央聴覚支援学校 高等部4F会議室

### 1 開会

### 2 学校長挨拶

### 3 学校の様子について

各部の授業・保育・生活の様子及びボランティア活動について報告

<委員からの意見・質問>

- ・生活応用コースの実習や進路について。就労支援センターや地域の企業との連携を継続。
- ・大学でのUDトークなど合理的配慮は進んできているが、自ら使えるようになるべきである。

### 4 議事

#### ①平成31年度学校経営計画及び学校評価(中間評価)案 について学校長より説明

<委員からの意見・質問>

- ・災害時にはTVなどで情報保障がされるようになってきたが、確実に情報を受け取れるように、情報の見方なども学んでほしい。
- ・避難訓練はどのように工夫しているか。  
→(校長より)いつも同じマニュアルに添って行うのではなく、今年は想定を変えた。突発的なことに対応できる判断力を身につけさせたい。  
(首席より)教員対象の防犯訓練でも想定を変えて行った。
- ・「手話とともに未来へ」というスローガンがあるが、経営計画にも「手話」の文言を入れてほしい。
- ・各学部の指導計画(特に自立活動)には「手話」を扱っているのではないか。  
→(校長より)経営計画には文言は入っていないが、指導には全ての部で手話を使用している。助詞の使い方などもきちんと指導していきたい。
- ・人工内耳の子どもも増えているが、学校生活には授業だけでなく集団としての活動がある。みんながわかりあえる手段は手話である。
- ・検定試験の合格率が上がっているが、どのような取り組みをしているか。  
→(校長より)チャレンジしたい子どもには、検定の級にかかわらず、受けて自信をもたせるようにしている。
- ・全国学力テストはどのようにしているか。  
→(校長より)中学校に準ずる教育課程を履修している子どもが受ける。保護者にも説明している。
- ・教員の手話研修について。  
→(校長より)聴覚障がい教員の協力を得て、校内で授業中に行っている。また、府の施策により、講師を招いて講習会も開いている。

②教科用図書の選定について教頭より説明

<委員からの意見・質問>

- ・聴覚支援学校では視覚支援として写真や図の多いものがよいと思うが、地域に準ずるということであれば、副教材で工夫していただけるものと思う。

5 事務局より連絡

今後の学校運営協議会の予定及び行事の日程について

6 閉会